

第17期

昭和62年5月2日～平成3年5月1日 [昭62.4.12選挙執行] 定数70名

この期の 主な出来事

- * 青函トンネル開通 (昭63.3)、昭和天皇崩御 (昭64.1)、消費税スタート (昭64.4)
- * 白石区、西区から厚別区、手稲区が分区 (9区体制へ) (平元.11)、札幌ユニバーシアード冬季大会開催 (平3.3)

本市創建120年

急速に進展する高齢化、国際化、高度情報化といった時代の潮流の中で、本市は創建120年の節目にふさわしく第3次長期総合計画をスタートさせました。中でも、国際見本市、冬季アジア競技大会、ユニバーシアード冬季大会、パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) などの国際的イベントの開催、国際交流プラザの設置、天神山国際ハウスの建設、さらにソ連・ノボシビルスク市との姉妹都市提携など国際化を促進する事業が積極的に行われました。



第17期市議会議員

パシフィック・ ミュージック・ フェスティバル 開催 (平2.6)

世界の若手音楽家の育成を通して音楽の普及と国際交流の促進をはかる国際教育音楽祭です。



前田森林公園カナル (水路) 一般開放 (平元.4)

広大な芝生広場や木製遊具などもあり、子どもから大人まで幅広い人気を集めています。



市立高等専門学校開校 (平3.4)

北の風土に根ざした芸術文化の創造と地域産業の活性化を担う人材の育成を目指しています。



地下鉄東豊線開業 (昭63.12)

このときは栄町～豊水すすきの間が開業し、平成6年に豊水すすきの～福住間が開業しました。

第18期

平成3年5月2日～平成7年5月1日 [平3.4.7選挙執行] 定数71名

この期の 主な出来事

- * 雲仙・普賢岳で火砕流発生 (平3.6)、バブル経済崩壊 (平3.ころ)、Jリーグ開幕 (平5.5)、皇太子御成婚 (平5.6)、阪神淡路大震災発生 (平7.1)、サリン事件 (平7.3)
- * 平和都市宣言 (平4.3)、地下鉄東豊線豊水すすきの～福住間開通 (平6.10)

初の補欠選挙 (平成5年7月18日)

平成3年8月18日、森和雄議員が逝去されたこと、長内順一議員が国会議員転出のため、6月21日付けで市議会議員を辞職し、東区の欠員は2名となり、定数の6分の1を超える欠員となったため、本市においては初めての市議会の補欠選挙を執行することになりました。

議会運営委員会

札幌市議会は、議会運営を円滑に進めるため、議会運営委員会を昭和31年8月から設置しています。当初法令によらない委員会として運営されていましたが、平成3年4月の地方自治法の改正により、平成3年6月に条例を改正し、法律上の委員会として位置付けられました。



第18期市議会議員 (平成3年第1回臨時会最終日)



ミュンヘン大橋開通 (平3.11)

ドイツ・ミュンヘン市との姉妹都市提携15周年を記念して命名されました。斜張橋と呼ばれ、戦後ドイツを中心に発展した橋りょう形式です。

4WD高規格救急車「トライハート」配置 (平4.12)

高度な応急処置を行える救急救命士と24時間体制の救急指示医師が力を合わせ、救命率の向上に努めるために医師搬送を行っています。



札幌市中央健康づくりセンター オープン (平5.9)

乳・幼児から高齢期までの各ライフステージに対応した一貫した健康づくりをすすめる施設



厚別融雪槽供用開始 (平5.1)

下水処理水を利用した融雪槽で、夏季には雨水・汚水の調整池として通年使用ができます。